



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月10日

上場会社名 OBARA GROUP株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6877 URL http://www.obara-g.com/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)小原 康嗣
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室長 (氏名)飯高 成美 (TEL)046-271-2124
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 平成30年6月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	24,645	12.9	4,497	9.5	4,579	1.4	4,309	50.3
29年9月期第2四半期	21,833	△21.2	4,105	△32.4	4,518	△25.5	2,867	△22.9

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 4,117百万円(△31.9%) 29年9月期第2四半期 6,043百万円(226.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	235.62	225.74
29年9月期第2四半期	156.77	150.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	72,494	46,307	63.7
29年9月期	67,339	43,650	64.7

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 46,208百万円 29年9月期 43,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	30.00	—	80.00	110.00
30年9月期	—	40.00			
30年9月期(予想)			—	50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	6.4	9,600	6.5	9,800	△0.9	8,000	26.5	437.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名)株式会社プレテック、 除外 1社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年9月期2Q	20,869,380株	29年9月期	20,869,380株
30年9月期2Q	2,578,870株	29年9月期	2,578,735株
30年9月期2Q	18,290,583株	29年9月期2Q	18,290,735株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11
3. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 地域別販売状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年10月1日～平成30年3月31日)における世界経済は、アジア地域を始めとする新興国の景気拡大や、米国や欧州地域における回復基調の持続から、全体として緩やかな成長で推移しました。

我が国経済につきましては、設備投資や工業生産の増加が見られ、個人消費が持ち直しの動きを示すなど、緩やかな景気回復が続きました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、中国を中心としたアジア地域や米州地域などで、新モデル投入などによる設備投資が行われるとともに、生産活動についても堅調な動きが見られました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、先端製品を中心とした需給状況の好転を受け、設備投資及び生産活動での活発化の流れが顕著となりました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高246億45百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益44億97百万円(前年同期比9.5%増)、経常利益45億79百万円(前年同期比1.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益18億27百万円が発生したことなどにより、43億9百万円(前年同期比50.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である日系・欧米系・アジア系自動車メーカーにおいて、中国を中心としたアジア地域や米州地域などで堅調な設備投資が行われ、世界各地の自動車生産は概ね高水準となりました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は好調に推移しました。

この結果、部門売上高は180億79百万円(前年同期比11.7%増)、部門営業利益は39億64百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

②平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、DRAMやフラッシュメモリーなど主要エレクトロニクス製品の堅調な販売動向を受け、取引先であるエレクトロニクス関連素材において、生産活動に加え、設備投資の回復が顕著となりました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は好調に推移しました。

この結果、部門売上高は65億68百万円(前年同期比16.3%増)、部門営業利益は7億47百万円(前年同期比57.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は724億94百万円と、前連結会計年度末に比べて51億54百万円増加しました。有価証券が24億71百万円減少した一方、現金及び預金が33億2百万円、受取手形及び売掛金が15億42百万円、たな卸資産が17億38百万円増加したことなどによります。

負債は261億87百万円と、前連結会計年度末に比べて24億97百万円増加しました。前受金が6億5百万円、賞与引当金が4億83百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が7億87百万円、短期借入金が6億2百万円、1年内返済予定の長期借入金が4億10百万円、1年内償還予定の社債が5億65百万円、その他流動負債が6億74百万円増加したことなどによります。

純資産は463億7百万円と、前連結会計年度末に比べて26億57百万円増加しました。利益剰余金が28億46百万円増加したことなどによります。

2 キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は129億30百万円と、前連結会計年度末と比べて14億91百万円減少しました。

営業活動により得られた資金は32億19百万円となりました。税金等調整前四半期純利益が63億93百万円、収用補償金の受取額が10億26百万円となった一方、たな卸資産の増加額が11億95百万円、移転補償金が15億56百万円、法人税等の支払額が14億51百万円発生したことなどによります。

投資活動により支出した資金は31億86百万円となりました。定期預金の純増加額が22億12百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が8億76百万円発生したことなどによります。

財務活動により支出した資金は13億73百万円となりました。短期借入金の純増加額が1億3百万円となった一方、配当金の支払額が14億64百万円発生したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において概ね計画通りに推移しており、平成29年11月6日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,575	21,878
受取手形及び売掛金	17,281	18,823
有価証券	2,720	249
商品及び製品	5,420	5,845
仕掛品	2,807	3,702
原材料及び貯蔵品	3,020	3,438
その他	1,949	2,272
貸倒引当金	△653	△543
流動資産合計	51,121	55,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,681	7,914
土地	2,994	3,013
その他(純額)	1,607	1,706
有形固定資産合計	12,282	12,635
無形固定資産		
のれん	476	759
その他	723	734
無形固定資産合計	1,200	1,494
投資その他の資産		
投資有価証券	2,025	2,016
その他	761	732
貸倒引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	2,735	2,698
固定資産合計	16,217	16,827
資産合計	67,339	72,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,882	5,670
短期借入金	443	1,045
1年内償還予定の社債	—	565
1年内返済予定の長期借入金	15	426
未払法人税等	1,032	1,287
前受金	3,986	3,381
賞与引当金	1,064	580
その他	1,400	2,074
流動負債合計	12,825	15,031
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,035	7,028
長期借入金	103	93
繰延税金負債	3,086	3,220
役員退職慰労引当金	115	223
退職給付に係る負債	343	393
その他	179	196
固定負債合計	10,863	11,155
負債合計	23,689	26,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
利益剰余金	46,591	49,437
自己株式	△7,785	△7,786
株主資本合計	40,731	43,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	493
為替換算調整勘定	2,285	2,138
その他の包括利益累計額合計	2,829	2,632
非支配株主持分	89	98
純資産合計	43,650	46,307
負債純資産合計	67,339	72,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	21,833	24,645
売上原価	14,175	16,237
売上総利益	7,657	8,408
販売費及び一般管理費	3,552	3,911
営業利益	4,105	4,497
営業外収益		
受取利息	121	151
受取配当金	10	12
為替差益	218	—
補助金収入	47	67
その他	72	59
営業外収益合計	470	290
営業外費用		
支払利息	10	11
為替差損	—	181
その他	46	15
営業外費用合計	57	208
経常利益	4,518	4,579
特別利益		
固定資産売却益	—	271
移転補償金	—	1,556
特別利益合計	—	1,827
特別損失		
固定資産除却損	—	14
会員権評価損	64	—
特別損失合計	64	14
税金等調整前四半期純利益	4,454	6,393
法人税、住民税及び事業税	1,613	1,698
法人税等調整額	△31	381
法人税等合計	1,582	2,079
四半期純利益	2,872	4,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,867	4,309

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	2,872	4,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	△50
為替換算調整勘定	3,009	△146
その他の包括利益合計	3,171	△196
四半期包括利益	6,043	4,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,029	4,112
非支配株主に係る四半期包括利益	13	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,454	6,393
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	347	417
貸倒引当金の増減額(△は減少)	82	88
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77	△110
受取利息及び受取配当金	△468	△519
支払利息	△131	△164
売上債権の増減額(△は増加)	10	11
たな卸資産の増減額(△は増加)	△164	36
未収入金の増減額(△は増加)	△669	△1,195
仕入債務の増減額(△は減少)	△39	25
有形固定資産除売却損益(△は益)	160	142
移転補償金	△7	△253
会員権評価損	—	△1,556
前受金の増減額(△は減少)	64	—
その他	△529	△122
小計	△809	303
利息及び配当金の受取額	2,221	3,497
利息の支払額	152	157
収用補償金の受取額	△10	△10
法人税等の支払額	530	1,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	△966	△1,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	1,927	3,219
有形固定資産の取得による支出	692	△2,212
有形固定資産の売却による収入	△2,850	△422
投資有価証券の取得による支出	34	483
投資有価証券の売却及び償還による収入	△105	△5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	399	—
その他	—	△876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,893	△3,186
長期借入金の返済による支出	158	103
自己株式の取得による支出	△7	△7
配当金の支払額	△1	△1
非支配株主への配当金の支払額	△1,098	△1,464
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	△962	△1,373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,038	△151
現金及び現金同等物の期首残高	110	△1,491
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,410	14,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,521	12,930

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,187	5,645	21,833	—	21,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	4	△4	—
計	16,188	5,649	21,838	△4	21,833
セグメント利益	3,691	474	4,165	△60	4,105

(注) 1 セグメント利益の調整額△60百万円には、セグメント間取引消去△4百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△55百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,078	6,567	24,645	—	24,645
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	2	△2	—
計	18,079	6,568	24,647	△2	24,645
セグメント利益	3,964	747	4,712	△215	4,497

(注) 1 セグメント利益の調整額△215百万円には、セグメント間取引消去△2百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△213百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社プレテックの株式を取得し、同社及び同社の子会社である株式会社ピーティージーエンジニアリングを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「平面研磨装置関連事業」のセグメント資産が5,266百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間より、株式会社プレテックの株式を取得し、同社及び同社の子会社である株式会社ピーティージーエンジニアリングを連結の範囲に含めたことにより、「平面研磨装置関連事業」のセグメントにてのれんを認識しております。

なお、当該事象によるのれんの計上額は367百万円としておりますが、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

平成30年1月15日付で以下のとおり株式会社プレテックの株式を取得したため、同社及び同社の子会社である株式会社ピーティシーエンジニアリングを連結子会社としております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社プレテック
事業の内容 精密洗浄装置の製造販売

② 企業結合を行った主な理由

株式会社プレテックは、昭和57年に設立され、精密洗浄機器の製造販売を手掛けております。シリコンウエーハ、フォトマスク及びその他精密部材の分野において、洗浄プロセス技術、超音波技術、設計及び組立技術に強みを有し、差別化された商品群をもとに十分な顧客基盤を備えております。

今般、多岐多様な情報処理のためエレクトロニクス製品の需要が増大しており、今後、更に成長することが見込まれています。当社の平面研磨装置関連事業及び株式会社プレテックにおいては、最先端の技術及び製品を顧客に提供していく必要があります。その観点から、技術基盤の強化を図りたいという両社のニーズが合致し、当社は株式会社プレテックを子会社化することといたしました。

③ 企業結合日

平成30年1月15日(株式取得日)
平成30年2月28日(みなし取得日)

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

株式取得直前に所有していた議決権比率 1%
企業結合日に追加取得した議決権比率 99.6%
取得後の議決権比率 99.6%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したため。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業のみなし取得日を平成30年2月28日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3か月を超えないことから、貸借対照表のみを連結しているため、当第2四半期連結損益計算書については被取得企業の業績を含んでおりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	2,164百万円
取得原価		2,164百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

367百万円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額です。

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力により発生したものです。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	15,096	+6.4
平面研磨装置関連事業	4,083	+22.7
合計	19,180	+9.5

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、販売価格で表示しております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	17,527	△1.3	7,717	△0.7
平面研磨装置関連事業	11,953	+82.9	12,147	+133.3
合計	29,481	+21.3	19,865	+53.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 平面研磨装置関連事業の受注高及び受注残高は、エレクトロニクス関連素材向け製品受注の増加等による影響で、前年同期と比べ増加しております。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	18,078	+11.7
平面研磨装置関連事業	6,567	+16.3
合計	24,645	+12.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	7,057	13,939	2,812	836	24,645	—	24,645
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,433	955	52	5	3,447	△3,447	—
計	9,490	14,895	2,864	841	28,093	△3,447	24,645
セグメント利益	1,502	2,849	380	78	4,811	△314	4,497

- (注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。